

令和8年8月18日

隠岐支庁 農林水産局 農業振興部

標 題	園芸栽培者への裾野づくりを目指して野菜づくり講座を開催
------------	------------------------------------

(ダイジェスト)

隠岐地域で流通する青果物のほとんどは本土産であることから、地産地消の推進が地域の課題となっています。そこで、7月24日に西ノ島町の住民を対象とした野菜づくり講座を開催し、栽培から収穫・出荷に至る一連の技術を学びました。今後も園芸栽培者への裾野を広げるとともに、新規栽培者の確保に向けた取り組みを進めることとしています。

隠岐地域で流通する青果物のほとんどは本土産であることから、地産地消の推進が地域の課題となっています。そこで、県などの関係機関で組織する隠岐地域農業振興協議会は令和8年7月24日に園芸生産者への裾野を広げるため、西ノ島町の住民を対象とした野菜づくり講座を開催し、当日は5名の参加者がありました。

講座の前半では、隠岐地域の青果物の状況をはじめ、土づくり、播種・育苗、品目毎の栽培方法、病虫害対策、調製・出荷まで、栽培から出荷に至る一連の技術について座学を行いました。講座の後半ではハウス栽培の現場を訪れ、実際の栽培状況を確認しました。当日はハウス内の気温が35℃を超える厳しい環境でしたが、換気による温度管理や遮光ネットの利用、もみ殻を使ったマルチングなど、作物の生育環境を改善するための様々な工夫を学びました。

参加者からは「基本的なことが分かり勉強になった。」という意見があったほか、「畑にナメクジやウリハムシ等の害虫が多発している。対策を知りたい。」等の質問があり、害虫防除に対して関心が高い様子でした。隠岐地域は本土の生産者と比べて小規模多品目栽培の傾向がありますが、入手出来る農薬が少ないことから、農薬の選択を工夫するとともに、化学農薬に頼るだけでなく、耕種的、物理的及び生物的防除を組み合わせる必要があります。

農業振興部では、今後も引き続き関係機関と協力をしながら、園芸栽培者の裾野を広げるとともに、新規栽培者の確保に向けた取組を行っていきます。今回行った講座の質問内容やアンケート結果を元に反省会をして、次回以降の野菜作り講座の内容をアップデートしていきます。



(写真 座学の様子)



(写真 現地見学の様子)